

決済システムの強化を考える

— アジアにおける決済の円滑化と資金循環の活発化 —

セッション I 「アジアにおける資金フローの現状と決済システムの関連性」

インドネシアの決済システム

インドネシア戦略国際問題研究所経済部長
レイモンド アティジ

概 要

本報告では、2000年に運営を開始したグロス・ベースの即時決済システム（BI-RTGS）と、ネット決済システム（SKNBI）から構成されるインドネシアの資金決済システムについて説明する。インドネシアの金融当局であるインドネシア中央銀行は、自国の決済システムが円滑かつ効率的に運営されるよう、監督・維持していく責務を有する。インドネシア中央銀行は、決済システムのあり方に影響を及ぼしうる今後の経済状況の変化や技術の進歩に対応するため、1995年に導入した決済システムに関する計画を2004年に修正した。インドネシア中央銀行は、決済システムへの公正なアクセスと消費者保護を図っているが、中小企業による決済システムへのアクセスという点は引き続き検討すべき問題である。本報告では、この問題について決済システムを幅広い参加型にするべきかという観点から検討したい。また最後に、昨今の世界的な金融危機が資金フローや決済システムに与える影響について述べる。